



ゆざわのほっとな話題

NEWS HOT LINE ニュースほっとライン



▲バスケットボール交流



▲吹奏楽交流

交流を通し深める国際理解

7月2日~5日 台湾との青少年交流事業

市と台湾の国際交流事業として、2つの青少年訪問団とスポーツ交流、文化交流などが行われました。

この事業は、国際感覚の醸成と相互理解の促進を図るためのもので、台湾の小・中学生と指導者など約80人が来湯。訪問団はそれぞれ湯沢東小学校、湯沢西小学校、湯沢南中学校、湯沢北中学校を訪問し、児童生徒たちとのバスケットボール交流や吹奏楽交流のほか、川連漆器の蒔絵体験や湯沢凧づくり体験などの文化体験などを通して、日本の学校生活や湯沢の文化への理解を深めました。



▲川連漆器の蒔絵体験



▲湯沢凧づくり体験



親子で平和を考える夏に

7月8日 親子記者事業の参加者が市長を表敬訪問

「親子記者事業」（主催：日本非核宣言自治体協議会）に参加する湯沢西小学校4年生の鈴木アヒナ エマさん（写真中央）と保護者の鈴木アヒナ 麻由さん（写真右）が市長を表敬訪問しました。

この事業は、小学生と保護者が8月8日(出)～11日(火)の日程で長崎市を訪問し、長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典への参列や平和活動に取り組むかたがたへの取材を行い「おやこ記者新聞」を作成するものです。

エマさんは「長崎で戦争のことを知って、みんなにもどういふものか教えたい」と意気込みを語ってくれました。



地獄を訪ねる日帰り旅

6月27日 「三途川經由地獄行き」バスツアー

「三途川經由地獄行き」バスツアー（主催：湯沢市ジオパーク推進協議会）が開催されました。

このツアーは、今では廃線となった木地山線をたどり、ゆざわジオパークの三途川溪谷、川原毛地獄をガイドの解説とともに巡るものです。

当日は、電光掲示板に行き先「地獄」と表示したバスが湯沢駅前を出発。現地には特設のバス停も設置され、参加者たちは記念撮影を楽しむなど、ツアーを満喫していました。

